



↑登尾選手のドリブル突破を阻止しようとする子どもたち

★ Jリーガー 登尾選手と交流 華麗な動きに目を輝かせる

町内のサッカーチーム長島FC（小学生）とFC長島（中学生）は1月5日、川床コミュニティ運動場でJリーグ『京都サンガF.C.』の登尾顕徳選手（23）＝浜漣出身＝と交流し、さわやかな汗を流しました。

この交流は、登尾選手の父親で長島FCを指導している公德さん（49）の呼びかけで実現したものです。同日は両チームから12人が参加。プロ選手の華麗な動きに目を輝かせながら、パスやリフティング、ミニゲームなどで楽しいひとときを過ごしました。

ミニゲームで登尾選手と同じチームになった田淵真次君（12）は「楽しくプレーすることができた。これから審判の免許を取るなどして、サッカーを続けたい」と夢を膨らませていました。登尾選手は子どもたちを見つめながら「とにかく楽しく長くプレーして、うまくなってほしい」と話しました。

↓達人による、恐竜の化石などの写真を使った講演



★ 「その道の達人」がやってきた 恐竜への興味を広げる

クビナガリュウの化石が発見され、恐竜への関心が高まっている獅子島中学校（阿久根森喜校長・生徒29人）は1月12日、「恐竜の達人」を招いて恐竜の生態などについて学びました。

これは、社団法人日本理科教育振興協会が行っている「その道の達人」派遣事業を活用したものです。講師で福井県立恐竜博物館の東洋一副館長が、恐竜は「歯は何回でも生え変わる」「卵を抱いて温める」「平均7年で大人になる」と体や生活などについて説明すると、生徒たちは興味深く聞き入り、恐竜への興味を広げている様子でした

★ 長島少女バレーボール大会 鷹巣が両パート制す

第18回長島少女バレーボール大会が12月16日、長島町総合町民体育館で開催され、Aパートに5チーム、Bパートに5チームの計10チームが出場しました。両パートとも総当たりで優勝目指して、熱戦が繰り広げられました。大会の結果は次のとおりです。

- Aパート 【優勝】 鷹巣A 【2位】 川床A
【3位】 蔵之元A
- Bパート 【優勝】 鷹巣B 【2位】 蔵之元B
【3位】 鷹巣C



↑Aパートで優勝した鷹巣Aのメンバー